

京田辺市子ども・子育て支援に関する担い手アンケート調査結果

【調査期間】 令和元年4月22日（月）～5月17日（金）

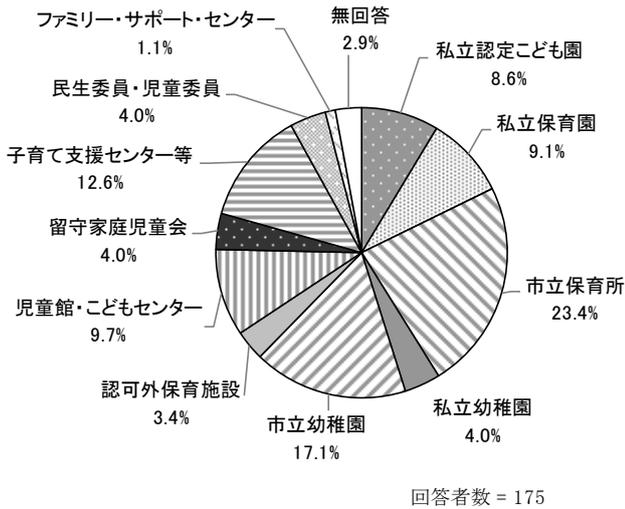
【調査方法】 郵送による回収

【調査対象】 私立認定こども園、私立保育園、市立保育所、私立幼稚園、市立幼稚園、児童館・こどもセンター、留守家庭児童会、支援センター、ファミリー・サポート・センター、認可外保育施設、主任児童委員、放課後デイサービス事業所、市担当職員 **合計 259 名**

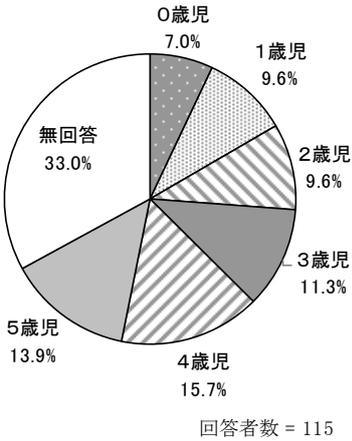
【回収数・回収率】 175 通（67.6%）

【調査目的】 「第2期京田辺市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたって、子育ての担い手である幼稚園教諭・保育士・指導員等のみなさんから子どもの現状や課題等をお聞きしました。調査結果が、今後の幼児期における保育・教育の質の向上と子育て支援のよりよい計画の策定の参考になればと考えています。

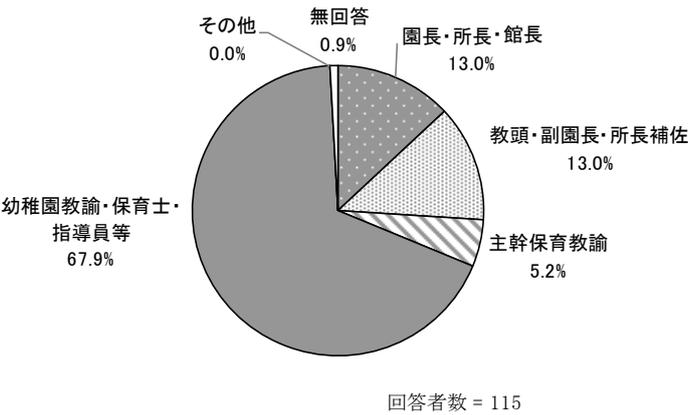
【問1】 勤めている施設等について



【問2】 担任するクラスについて



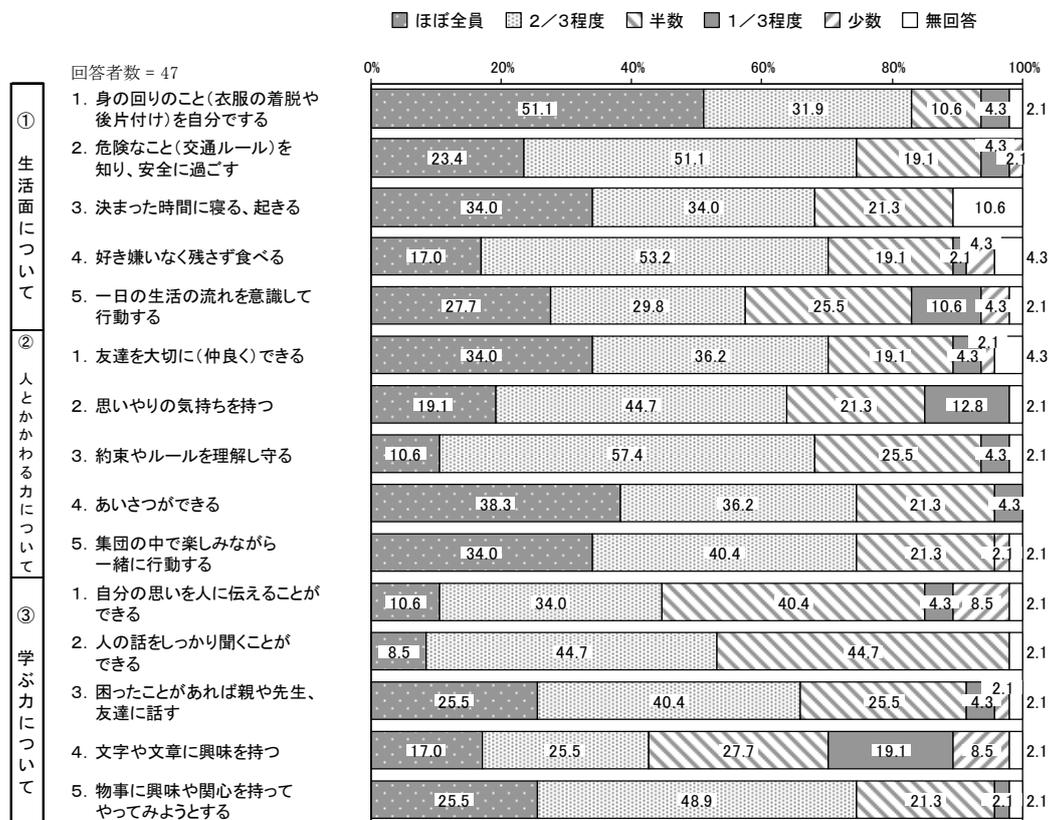
【問3】 役職について



【問4】関わっている子どもたちができていることについて

(こども園・保育所(園)・幼稚園・認可外保育施設に勤めている人)

- 約5割の人が、ほぼ全員が身の回りのことを自分ですると回答しています。
- 約1割の人が、自分の思いを人に伝えることができる、文字や文章に興味を持っている子どもは少数であると回答しています。



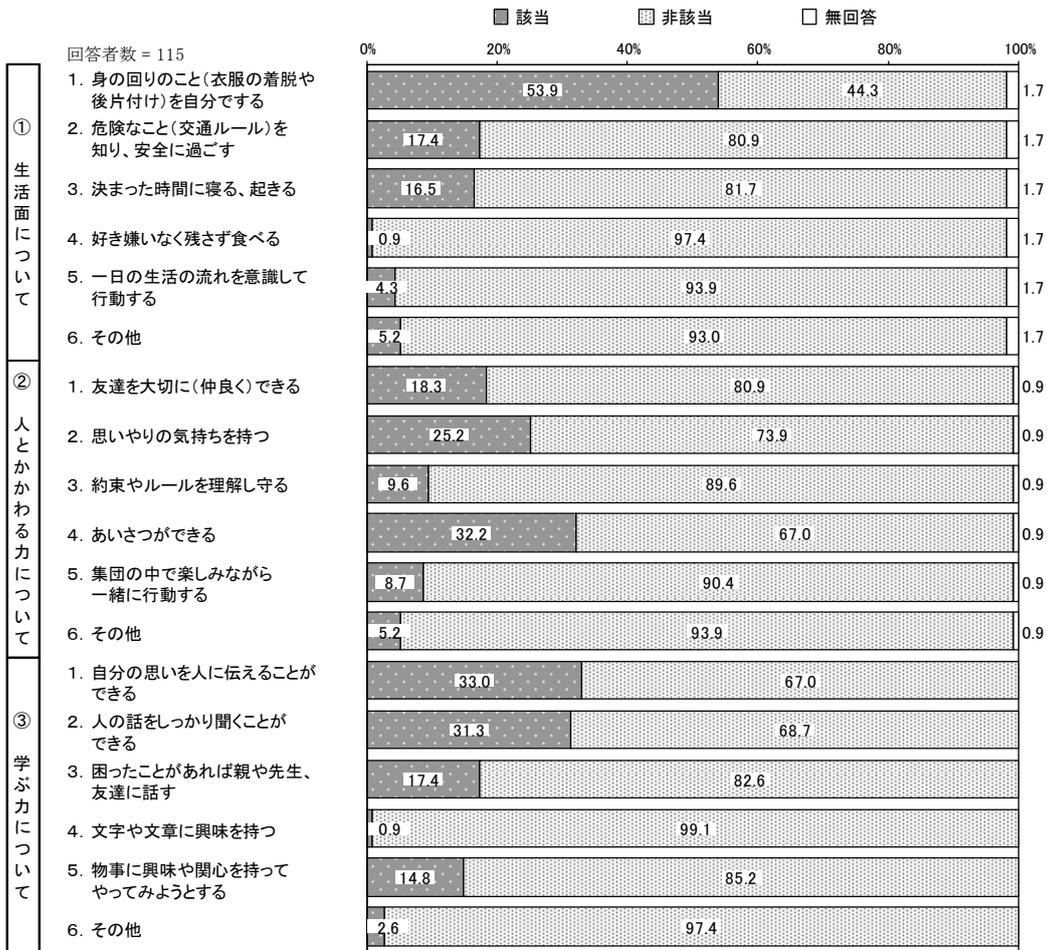
【問5】幼児期に身につけておくべき「生きる力」について (115件)

(こども園・保育所(園)・幼稚園・認可外保育施設に勤めている人)

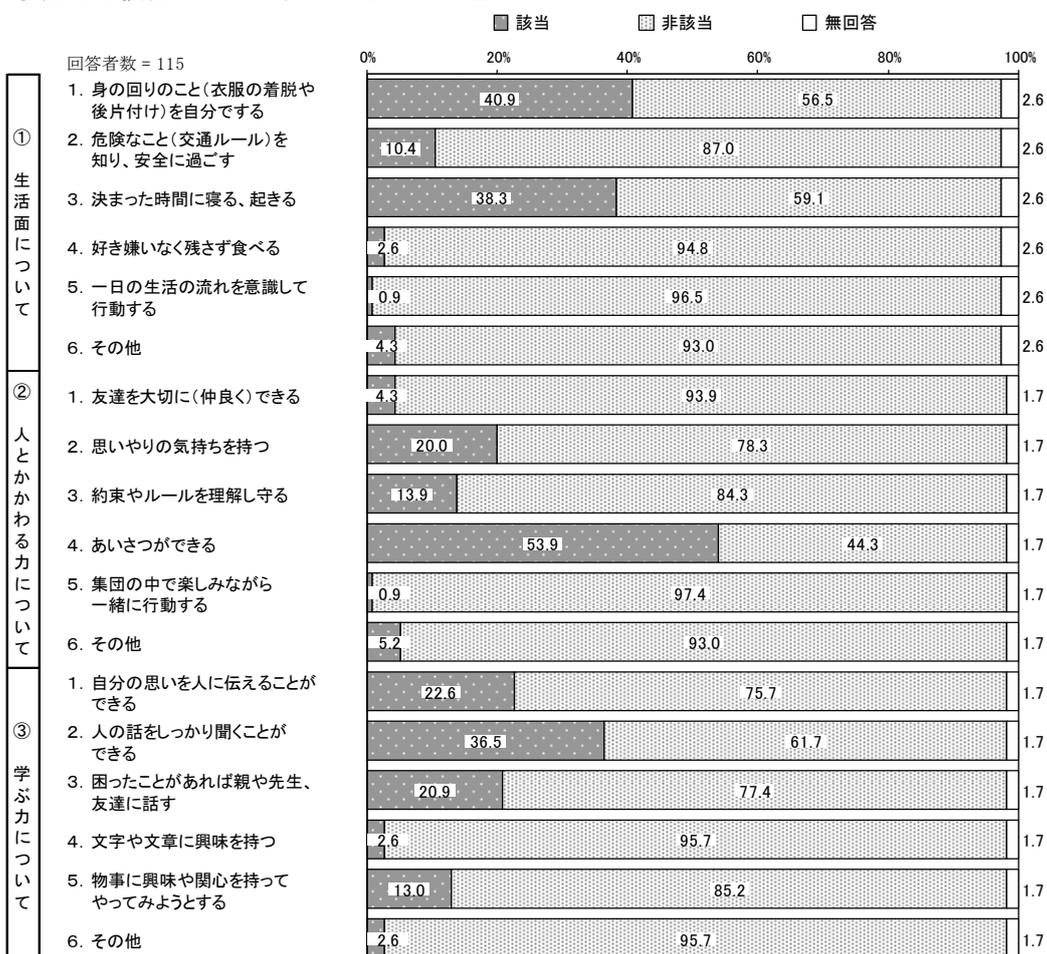
※幼児期に身につけておくべき「生きる力」として生活していく基礎的な力、人とかわる力、学ぶ力について、『小学校入学までに身につけてほしいこと』と『家庭でも積極的に取り組んでほしいこと』それぞれに、必要だと思ふ項目を順(1位~6位)に選んでいただきました。

- 入学までに身につけておいてほしいことについては、生活面では「身の回りのこと(衣服の着脱や後片付け)を自分でする」、人とかわる力では「あいさつができる」、学ぶ力では「自分の思いを人に伝えることができる」が最も高くなっています。家庭でも積極的に取り組んでほしいことについては、生活面では「身の回りのこと(衣服の着脱や後片付け)を自分でする」、人とかわる力では「あいさつができる」、学ぶ力では「人の話をしっかり聞くことができる」が最も高くなっています。
- その中でも、入学までに身につけておいてほしいことでは「身の回りのこと(衣服の着脱や後片付け)を自分でする」、家庭でも積極的に取り組んでほしいことでは「あいさつができる」が半数を超える回答を得ています。

○ 入学までに身につけておいてほしいこと



○ 家庭でも積極的に取り組んでほしいこと



【問6】不安なく小学校生活をスタートできるようにするために必要なこと【自由記載】(118件)

(こども園・保育所(園)・幼稚園・認可外保育施設に勤めている人)

- ・保育園・幼稚園・小学校・学童保育での連携(68件)
- ・自己肯定感を高める(19件)
- ・規則正しい生活習慣を身につける(7件)
- ・配慮の必要な子どもの情報共有(3件)
- ・その他(4件)
- ・小学生との交流会(8件)
- ・小学校体験(6件)
- ・親同士のつながり(3件)

【問7】「家庭の教育力」を高めるために重要なこと【自由記載】(166件)

- ・同じ時間を共に過ごす(52件)
- ・保護者の意識(19件)
- ・保護者同士が関わる機会をもつ(15件)
- ・子どもの様子を伝えていく(6件)
- ・同年齢の子との交流(1件)
- ・気軽に行ける相談の場の提供(39件)
- ・必要な情報を選べるような環境づくり(17件)
- ・規則正しい生活習慣を身につける(6件)
- ・心に余裕をもてるようにする(5件)
- ・その他(6件)

【問8】「地域の教育力」を高めるために重要なこと【自由記載】(157件)

- ・あいさつを交わす習慣づくり(42件)
- ・交流の場(29件)
- ・地域で子供達を見守る接しやすい関係性をつくる(22件)
- ・地域の子どもたちに積極的に関わっていくこと(14件)
- ・安心して遊べる場所(4件)
- ・地域住民の間に入る専門的な人材が必要(4件)
- ・地域とのつながりを深める(39件)
- ・その他(3件)

【問9】保護者が子育てをしていて困っていること【自由記載】(157件)

- ・育児相談(51件)
- ・育児と仕事が両立(14件)
- ・安全な遊び場が少ない(11件)
- ・緊急時に専門知識を持つ人が対応できるサービス(9件)
- ・発達の違い(9件)
- ・病児保育が少ない(6件)
- ・施設のセキュリティ面や衛生面(2件)
- ・子育ての仕方(22件)
- ・子どもと接する時間が少ない(13件)
- ・預り保育・延長保育、早朝保育(7件)
- ・食事に関する悩み(好き嫌い、遊び食べ等)(2件)
- ・その他(11件)

【問10】地域と接していて気になること【自由記載】(138件)

- ・子育ての仕方(21件)
- ・子育ての孤立化(17件)
- ・教育やしつけに対して園に頼りきっていること(9件)
- ・関係機関との連携・情報共有(8件)
- ・親の生活習慣の乱れ(6件)
- ・ゲーム等の普及で発達への影響が気になる(6件)
- ・心のゆとりがない(6件)
- ・外国籍の方も安心して過ごせるような環境づくり(5件)
- ・経済的な不安(4件)
- ・安心して遊べる場が少ない(3件)
- ・働きかたなど社会全体の意識改革(1件)
- ・障がいを持つ子どもの受け入れ(19件)
- ・子育てについて相談できる場(6件)
- ・親が障がいをもっている家庭への支援(5件)
- ・虐待などに気づきにくい(4件)
- ・父子・母子家庭への援助(1件)
- ・その他(17件)

【問11】その他自由意見(83件)

- ・相談・交流の場(23件)…気軽に悩みを相談できる場がもっとあってもよい
- ・仕事と育児の両立(2件)…子育てをしながら仕事が頑張れる環境をつくっていただきたい
- ・保育所について(10件)…保育施設を増やしてほしい
- ・あそび場について(4件)…子どもとの遊び方、遊ぶことの楽しみ方を伝えていきたい
- ・親の子育て意識について(8件)…子育てを楽しみ、悩みながら保護者自身の人間力も向上できるような支援
- ・子育て支援について(26件)…保護者の便利さを追求するほうに傾らないで、子どもに視点をあてての子育て支援を考えていくことが大切
- ・その他(10件)…もっともっと子育てしている人に優しい社会になればよい